

「第3次食育推進基本計画」目標(案)

参考資料

■ :新規の目標 ■ :目標の変更 ■ :目標値の変更

<2014/8/28現在>

第2次食育推進基本計画				第3次食育推進基本計画			
目標	第2次計画 策定時の値	現状値 (26年度)	目標値 (27年度)	目標	第2次計画 策定時の値	現状値 (26年度)	目標値 (27年度)
目標				具体的な目標値			
1 食育に関心を持っている国民の割合の増加				1 食育に関心を持っている国民を増やす			
① 食育に関心を持っている国民の割合	70.5%	68.7%	90%以上	① 食育に関心を持っている国民の割合			
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加				2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす			
② 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9回	週10.0回	週10回以上	② 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数			
3 朝食を欠食する国民の割合の減少				3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす			
③ 朝食を欠食する子供の割合	1.6%	1.5%	0%	③ 地域等で共食したいと思う人が共食する割合			
④ 朝食を欠食する20歳代・30歳代男性の割合	28.7%	28.2%	15%以下	4 朝食を毎日食べる国民を増やす			
4 学校給食における地場産物等を使用する割合の増加				④ 朝食を毎日食べる若い世代の割合			
⑤ 学校給食における地場産物を使用する割合	26.1%	25.8%	30%以上	5 中学校における学校給食の実施率を上げる			
⑥ 学校給食における国産の食材を使用する割合	77%	77%	80%以上	⑤ 中学校における学校給食実施率			
5 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている国民の割合の増加				6 学校給食における地場産物等を使用する割合を増やす			
⑦ 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている国民の割合	50.2%	52.7%	60%以上	⑥ 学校給食における地場産物を使用する割合			
6 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している国民の割合の増加				⑦ 学校給食における国産食材を使用する割合			
⑧ 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している国民の割合	41.5%	42.1%	50%以上	7 栄養バランス等に配慮した食生活を実践する国民を増やす			
7 よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある国民の割合の増加				⑧ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合			
⑨ よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある国民の割合	70.2%	71.6%	80%以上	⑨ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合			
8 食育の推進に関わるボランティアの数の増加				8 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから食生活に気をつけ、実践する国民を増やす			
⑩ 食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	34.5万人	33.9万人	37万人以上	⑩ 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから食生活に気をつけ実践する国民の割合			
9 農林漁業体験を経験した国民の割合の増加				⑪ 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数			
⑪ 農林漁業体験を経験した国民の割合	27%	33%	30%以上	9 ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす			
10 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合の増加				⑫ ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合			
⑫ 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合	37.4%	70.1%	90%以上	10 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす			
11 推進計画を作成・実施している市町村の割合の増加				⑬ 食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数			
⑬ 推進計画を作成・実施している市町村の割合	40%	76.0%	100%	11 農林漁業体験を経験した国民を増やす			
				⑭ 農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合			
				12 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民を増やす			
				⑮ 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合			
				⑯ 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合			
				13 推進計画を作成・実施している市町村を増やす			
				⑰ 推進計画を作成・実施している市町村の割合			
				14 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす			
				⑱ 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合			
				15 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承し伝えている国民を増やす			
				⑲ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承し伝えている国民の割合			
				⑳ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承している若い世代の割合			

※現在協議中であり変更があり得ます。